

## 第4次羽曳野市子ども読書活動推進計画にかかるパブリックコメント意見

NO.	パブリックコメントへの意見概要	市の考え方
<b>第4次羽曳野市子ども読書活動推進計画全体について</b>		
1	「こども夢プラン」のように応募フォームがあれば、よかったですと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども政策課が策定の「こども夢プラン」の応募フォームについて今回、ロゴフォームを使用したことを確認しましたので、次回の計画策定時の参考にしたいと思います。 (図書館)</li> </ul>
2	<p>第3次計画では、各関係機関のアンケートの結果が冊子に入っていましたが、第4次計画には、入れないのでしょうか。</p> <p>アンケートで出てきた、希望や問題点などを計画に入れることは大事だと思いますが、第3次計画の内容とほぼ変わっていないように思います。</p> <p>第3次計画から4年で達成できたこと、あるいは、取り組みつつあることを第4次計画に載せることも必要ではないかと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果につきましては、計画冊子の中に組み込みます</li> <li>・第4次計画の目標がこれまでの計画とあまり変わらないとのこと指摘ですが、第3次計画推進中に新型コロナウイルス等が蔓延して、いろいろな制約等で実施できなかった事業などもあったため、十分に到達できていない点があることも事実です。その点を考慮し内容が継続されているとご理解ください。</li> <li>・今後の具体的な取り組みについては、この計画に基づき、積極的に行っていく予定です。 (図書館)</li> </ul>
3	第3次計画のころに比べると、ホームページが充実し、SNSの活用など、市民への周知が充実してきたように思います。さらに発展できるような、できるだけ具体的な計画を立てていただければと願っております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次計画では、今までの広報誌、図書館だよりやホームページに加えて、図書館公式Xやインスタグラム、LINEなど、多種多様な媒体を通じて、子どもの読書活動に関する情報を提供することとしています。今後においても、タイムリーな情報発信に努めてまいります。 (図書館)</li> </ul>

## 第4次羽曳野市子ども読書活動推進計画にかかるパブリックコメント意見

P4 第1部 第2章 ④ 「学校園での読書活動の推進」について		
4	<p>4 ページ目の④番「司書配置ない中学校には、校区内の小学校の司書が必要に応じて図書館活動の支援を行っています。」とありますが、具体的にはどのような支援が行われ、その結果がどうなっているのか、またこれからさらに、どのようなことが必要と考えるのかを具体的に計画に入れていただく必要があるのではと思うのですが、如何でしょうか。</p>	<p>・学校司書の配置がない中学校については、中学校区の小学校の司書が連携し、夏休みの期間中に図書室の環境整備を中心として、随時学校図書室の充実に努めています。市立学校の司書配置について、効果検証を行い検討していきます。 (学校教育課)</p>
P5 第1部 第2章 4 ② 「子ども読書推進のための専門員の配置と資質の向上」について		
5	<p>「中学校では専任の学校司書のいない学校が複数校あるため、市立図書館からの支援体制を充実させることが不可欠」とありますが、中学校に司書配置があればいいのではないのでしょうか。</p>	<p>・中学校への司書配置にしては、文部科学省が示している「第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」概要資料(令和4年度～令和8年度)」等参照しながら、予算措置について検討をしていきます。 (学校教育課)</p>
P5 第1部 第2章 4 ④ 「中・高校生の読書離れ」について		
6	<p>中・高校生の読書ばなれ「学校での読書推進を図る方策が必要」でも、中学校に司書配置があれば、身近にある学校図書館で本に触れる機会が増えることにもなると思います。</p>	<p>・現在、全中学校への学校司書の配置はできておりません。小学校に配置している学校司書や市立図書館の司書との連携で図書室の充実を進めながら、中学校への学校司書配置にしては、文部科学省が示している「第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」概要資料(令和4年度～令和8年度)」等参照しながら、予算措置について検討をしていきます。 (学校教育課)</p>

## 第4次羽曳野市子ども読書活動推進計画にかかるパブリックコメント意見

7	<p>中高生の読書離れ・・・というところですが、小学生を含め、子どもたちは、とても忙しそうでなかなか図書館や文庫に足を運ぶ時間が持てないのが、ここ何年もの現状だと思います。ということは、子どもが必ずいる、学校図書館が非常に大事だと思われま。中学校では司書の先生が入ってられないところもあり、早急に司書の配置が必要と思いますが、それまでは特に市立図書館の協力が欠かせないと思います。</p> <p>学校図書館への配本だけではない具体的な支援をどのように行うか、示して頂く計画が入っていてほしいと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングアダルト層（中高生等）の利用を進めていくことは、図書館にとっても大きな課題です。まずは学校の図書室や市立図書館に足を運んでもらえるような楽しい企画や、本に興味を持ってもらえるような企画を学校と連携して行えるように模索しているところです。（中高生が作成したおすすめ本を市立図書館で紹介したり、図書館を使った調べる学習コンクールやビブリオバトル等の企画など）</li> <li>・具体的な支援について、府立図書館の出前講習では、学校図書館司書にも参加してもらい、市立図書館司書と学校図書館司書と一緒に学ぶ場を設けています。今後においても、市立図書館と学校図書館が交流し、協力し合える場を作っていきたいと考えています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（図書館）</p>
<p>P5 第1部 第2章 4 ⑥ 「活動を支えるボランティアの育成と支援」について</p>		
8	<p>活動を支えるボランティアの育成と支援・・・とは具体的にどのようなことでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの活動の場を提供や、大阪府立図書館や大阪府子ども文庫連絡会主催のお研修に参加していただける機会を作ります。また、ボランティアを支える職員についても積極的に研修へ参加し、スキルアップを図ります。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（図書館）</p>

## 第4次羽曳野市子ども読書活動推進計画にかかるパブリックコメント意見

P7 第2部 第2章 2 「地域での読書活動の推進」について		
9	地域で行われている読書活動の情報を収集し・・・とありますが、その情報は、どのようにして集めるのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内在住の職員が地域で知りえたことの情報提供や読書活動をされているボランティアの方々からの情報提供かと考えます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(図書館)</p>
P7 第2部 第2章 3 「図書館での読書活動の推進」について		
10	「おはなしボランティアなどの育成とスキルアップのための講座を定期的に行います」とありますが、私たちおはなしの森では、大子連の講座に参加したり、個人的にさまざまな勉強会に参加し、スキルアップの努力をしていますが、羽曳野市が開催するスキルアップの講座は、今までなかったように思いますが、今後行われるのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会の入門講座をボランティア団体の協力のもと毎年開催しています。また、羽曳野市が開催するスキルアップ講座についても、コロナ禍で出来ない時期もありましたが、今後は外部講師を招聘して開催したいと考えています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(図書館)</p>
P8 第2部 第2章 3 「図書館での読書活動の推進」について		
11	「図書館サービスの空白地域の解消に努めます」とありますが、具体的には、どのような方法で空白地域の解消に努めるのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の時間・場所を選ばない「電子図書館」の充実と利用の促進により、全市的な図書館サービスの向上に努めます。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(図書館)</p>

## 第4次羽曳野市子ども読書活動推進計画にかかるパブリックコメント意見

12	<p>「おはなし会」を開催するためには、「おはなし・読み聞かせ入門講座などの保護者向けの講座を充実するとともに、新たなボランティアの担い手の育成」が必要です。図書館での取り組みを期待します。</p>	<p>・おはなしボランティアの新たな担い手の育成のため、図書館でもイベントなどを通じて「おはなし会」に興味や関心を持っていただけるよう市民に対して啓発を行います。 (図書館)</p>
<p><b>P8 第2部 第2章 4 「学校園で読書活動の推進」について</b></p>		
13	<p>「学級文庫、保護者文庫の設置を進めます」の保護者文庫とは、どのようなものでしょうか。また、今現在、保護者文庫が設置されている小・中・義務教育学校は、どこでしょうか？また、その利用率はどのようになっているのでしょうか。</p>	<p>・保護者文庫の設置校は、西浦東小学校の1校のみです。PTA と連携し設置されており、保護者や地域から寄贈いただいた書籍を、来校した保護者が自由に借りることができるようにしています。そのため利用率については把握しておりません。 (学校教育課)</p>
14	<p>「小・中・義務教育学校の学校図書館がより魅力的な場所となるよう、くつろげるコーナー作りや読書・調べ学習にふさわしい環境の整備」するためには、人が必要だと考えます。司書の配置を考えてください。</p>	<p>・司書配置にしては、文部科学省が示している「第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」概要資料（令和4年度～令和8年度）」等参照しながら、配置校や予算措置について検討をしていきます。  (学校教育課)</p>

## 第4次羽曳野市子ども読書活動推進計画にかかるパブリックコメント意見

15	<p>「幼稚園、保育園、認定こども園において、ボランティアや保護者による「おはなし会」を開催」には、図書館員が関わり、子どもの実際を知る必要があると思います。また、普段の保育の中で、子どもたちに本の楽しさを実感してほしいと思います。そのため、現場の保育士や教諭に本の情報や研修の機会を考えてください。</p>	<p>・ これまでも、幼稚園・保育園・認定こども園、それぞれの職員対象に絵本作家の方などを講師に招いての研修を行っております。園においても、子どもたちが様々な絵本に出会う事で、お話の世界を楽しみ想像力を育み、感性を豊かに出来るよう保育の中に絵本にふれる機会を多く取り入れるだけでなく、市立図書館での絵本の読み聞かせに参加するなど取り組んでいます。</p> <p>今後も本の情報を現場の保育士や教諭が受け取れるよう工夫すると共に研修の機会を捉え、取組を進めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">（こども保育課）</p>
<p><b>P9 第2部 第3章 2 「関係機関の連携」について</b></p>		
16	<p>「関係機関と市民が協力しあって、子どもの読書推進のための研修を行います」とある、関係機関とは、学校、子ども文庫、保健センター、幼稚園、保育園、認定こども園、留守家庭児童会、子どもに関わる公共施設と市立図書館のことでしょうか。それらの機関と市民が協力しあう研修とはどのような研修でしょうか。</p>	<p>・ 関係機関については、学校、子ども文庫、保健センター、幼稚園、保育園、認定こども園、留守家庭児童会、子どもに関わる公共施設と市立図書館になります。また、研修について、内容によっては、図書館だけでなく関係機関にも参加していただけるよう案内するとともに、市民や利用者が参加できる研修・講演会の開催を行います。</p> <p style="text-align: right;">（図書館）</p>
17	<p>「まちライブラリーなど私設図書館等の活動への支援実施をします」とありますが、今現在、私設図書館は、羽曳野市にいくつあり、どのような支援を行い、さらに今後、どのような支援が必要かを具体的に計画の中に入れないといけないのではないかと思います。如何でしょうか。</p>	<p>・ 私設図書館についての詳細は把握できていませんが、支援については、市民から頂いた寄贈本の提供、また本の選書についてのご相談等があった際には、市立図書館として私設図書館の活動に協力します。</p> <p style="text-align: right;">（図書館）</p>

#### 第4次羽曳野市子ども読書活動推進計画にかかるパブリックコメント意見

18	<p>地域の本屋さんが減っていく中、市立図書館は地域の本屋さんを支える大事な機関だと思います。図書館の本は地域の本屋さんから購入されているのでしょうか。また市立図書館と地域の本さんの連携により、子どもたちの読書推進をいろいろ考えられると思いますが、如何でしょうか。</p>	<p>・羽曳野市に以前ありました書店組合が解散されたことにより、現在は地域の書店からは購入しておりません。 (図書館)</p>
----	--	---